

第 2 回：世界の A 級リゾートとホテル

1. 一流って何だろう？ ▶ はじめに、「考え方」を考える

- ・ 「一流」と言われているものを紹介して、その知識について、期末テストをすることもできる ▶ しかし、ある先生が「そうだ」といったからといって、それを本当に「一流」と解釈していいのだろうか？
 - ▶ また、仮にそれが本当に「一流」だったとしても、それはバックミラーに映った「一流」に過ぎない
 - ▶ 重要なことは、自分自身で「一流」を定義する力
 - 過去の事実、現在までの知識だけでは、将来何の役にも立たない

- ・ 私が「パンチワード」と呼ぶものがある
 - 「食の安全」「沖縄のため」「エコ」「説明責任」・・・何でも良いのだが、その言葉を聞いた瞬間に 99% が思考を停止する言葉のことを言う。皆その言葉を聞いただけでなんとなく納得してしまう。しかし、それは本当のところ、納得しているのではなく、まして、理解ではなく、単なる思考停止なのだ。
 - 我々は、当たり前前の言葉ほど、その意味を理解していない。当たり前だと思ふ概念に質問を 3 回掘り下げてみよう。その瞬間から真の学びと思考が始まるのだ。

- ・ 思考とは問いである
 - 思考とは、質問と答えの繰り返しである
 - ◇ 質問が答えを生み出し、答えは現実を生み出す
 - ◇ 人生の質は質問の質によって決まる
 - ◇ 「いま、愛なら何をするだろうか？」 → 経営理念が「質問」である理由 → 人間関係の接点に置いて最も重要なことは、何をどう問うか

- ・ 自分で思考していないときは、人の思考や世界観を無条件に受け入れている
 - ダン・アリエリー： NYU でのプライミング実験(乱文構成課題：バラバラの語彙を意味ある文章に再構築するテスト) → グループ A 「雨、今日、は、天気、の、です・・・(天気に関する語彙)」、グループ B 「フロリダ、ビンゴ、古い、・・・(老人に関する語彙)」 → 試験が終了した後、被検者が教室から建物の外に出るまでの時間(歩く速度)はグループ B の方がかなり遅かった → 自分でも認識しないうちに、「老人というイメージ」に行動が大きく影響されるという事実(自分が意識していなければ、誰かの意識を生きることに)

- ・ 問いとはフォーカスである
 - 思考は問いである、問いはフォーカスである、フォーカスをあてられたものが「現実」と呼ばれている ▶ 赤色、青色の実験
 - ◇ フォーカス(現実)は質問(思考)によって決まる
 - ◇ 人生の質は、出来事によって決まらない。全ては出来事の解釈(フォーカス)による → 全く同じ環境で、同じ経験をしながら異なる人生を歩む人がいるのは何故だろう？

- ◇ スタンフォード大学キャロル・ドウエク「やればできる！の研究」 → 成功は才能による
と考える「こちこちマインドセット」、成功は努力によると考える「しなやかマインドセ
ット」、困難に直面したとき、前者の方が簡単にあきらめる傾向があり、知能を褒めら
れて育った子供は粘りがなくなる → 同じ出来事を経験しても、結果がまるで異なる
- ◇ 「成功の大半は、『成功する方法を知っている』という確信から生まれる」(ドウエク)
- フォーカスは人間の生理であり、物理的制約である → 脳の処理能力には限度があるた
め、目に入る多くの情報は「作られている」 → 映画はこのメカニズムを利用している
- ◇ ダニエル・ギルバートの幸福の脳科学： 脳の記憶容量には限度がある、しかし…
→ (テレビ番組を 1 年分録画するときの容量を想像) → 脳は何百万枚もの写真、
音、におい、味、手触り、立体情報、時系列、途切れのない状況解説まで記録してい
る？ 脳は 1 日中、毎日、何年もそれを続けて、世界の写しを記憶装置に保存してい
るが、記憶装置はけっしていっぱいにならないのはなぜか？
 - 記憶は引き出してくるのではない、再現されるものでもない、記憶(過去)の実体
は、(キーワードを除き)その多くが脳による「でっち上げ」である → 脳があまり
に精巧にでっち上げるので、再現したように感じるだけ
 - 出来事の後で、過去の記憶を改変することは日常茶飯である → ①記憶行為
には細部の穴埋め(でっち上げ)が必要、②われわれ自身、穴埋めには気がつ
かない
 - (1)語群を記憶してもら「ベッド、起きる、いびき、休息、いねむり、昼寝、目覚め、
毛布、平安、疲れ、うたた寝、あくび、夢、まどろみ、睡魔」 → (2)「ベッド、うたた
寝、眠る、ガソリン」の 4 つの言葉の中から、前出の語群の中に存在しない語彙
を特定してもら、(3)「ガソリン」が語群に含まれていないことは、多くの人が特定
できる。しかし、「眠る」という言葉も語群に含まれていないことには殆どの人が
つかないばかりか、この言葉を明確に見た(記憶している)、と認識する強い傾向
 - → ①人は、「眠る」という言葉を見たことを、ぼんやりと思い出すのではなく、
推測する訳でもなく、鮮明に「記憶」していて、間違いなく存在していたと確信を持
っている、②この現象は事前に注意を促しても起こる、始めから騙そうという
意図を知っていても、記憶違いを止めることはできない
- 人間は見たいものを見るようにできている → 人間は見たいものを選択することで、現実
を生み出している
- ◇ CNN こどもの IQ 実験： 教師にある子供の IQ が飛び抜けて高い、と伝えと、それが
事実であろうとなかろうと、その子供の IQ が実際に高くなる
- ◇ 捕虜期間中のゴルフ「トレーニング」： 毎日の独房で精神状態を正常に保つため、イ
メージの中で、リアリティたっぷりに18ホールをラウンドをする → ゴルフの全くの素
人であったにも関わらず、出所後初めてのゴルフでスコア80 → 脳は、現実もイメー
ジも全く同じもの、として処理する → 脳にとって思考は現実そのもの
- ・ 脳は質問に 100%答える(多分) → 答えが得られるかどうかを心配する必要はない → 間違っ
た質問をしていないか、の方がよほど重要
 - 考え続けた年月： スターウォーズ 25 年、マトリックス 7 年、子供と親の愛 7 年… → 頭に
インプットしていれば、探し続けていけば、いつかは必ず答えがもたらされる = 問いかけ
れば、答えを得るために必要な経験が与えられる

2. 一流について考える

- ・ 一流の目に見える部分は氷山の一角である
 - 形の裏側では、何が起きているのだろうか？ ▶ 見えない部分こそ本質がある
 - 見えない部分を掘り下げるために、質問を深堀する
 - 目に見える部分から、情熱の強さと質と量を感じる ▶ 人の生き方を感じるということ
- ・ 一流を理解するための質問は？
 - ① 一流とは何だろうか？ ← 従来の「お勉強」(知識)、パンチワードで思考停止
 - ② 一流の要素とは、何だろうか？どうやって生まれたのだろうか？ ← 以下、講義の目的(知恵)
 - ③ 一流を生み出した人、一流に関わる人は、どんな人だろうか？ ← 人間への関心、人からの学び
 - ④ 一流を生み出した人は、他の人と何が異なっているのだろうか？ ← 自分の生き方を見つめる
- ・ ① 一流と言われているホテルの例…
 - セザール・リッツのグランド・ホテル
 - イザドア・シャープのフォーシーズンズ・ホテル
- ・ ② 一流の要素：
 - 一流とは、社会に世界観の転換をもたらすもの？
 - ◇ 直感を信じることで、サンプルのない変化を生み出す ▶ 自分の感覚を信じることで生まれるもの ▶ ウォークマン、iPhone、ヘンリー・フォード…
 - 一流とは、次世代の「あたりまえ」を生み出すもの？
 - ◇ 現在の「あたりまえ」の多くは、「一流」から派生したもの
 - ◇ セザール・リッツのグランドホテル、客室のバスルーム、エスコフィエのフランス料理、イザドア・シャープのシャンプー、アーマーチェスト、スポーツジム、インペリアル・バイキング…
 - ◇ 一流とは、かつての異端、現在の当たり前である ▶ 同様に、今後一流になるものは、現在の異端、次世代の当たり前である可能性が高い
 - 一流は波及する：一流から始まる変化は長く続き、波及の裾野が広い
 - ◇ 現在は至る所に存在する「グランドホテル」
 - ◇ 一般に、「お金持ちから始まったブームは息が長い」といわれる
- ・ ③ 一流とは人である
 - 一流のものは、必ず(一流の)誰かによって作られる ▶ 一流のものを作った人の物語を知る
 - 一流の顧客によって、商品がはじめて一流になる ▶ 一流の顧客は何に価値を見いだしているのだろうか？ ▶ 「一流は一流を知る」 ▶ 一流の人が求め、最も価値を置くものとは何だろうか？
- ・ ④ 一流の人物の考え方、働き方、生き方
 - 何でも構わない、一流のものを同じように作ってみる ▶ どれだけの意識と情熱と時間が必要か、そのような生き方がどのようなプロセスを経るか、どのような気持ちを経験するものか、何をもちたらずか、を理解するヒント
 - 形を一目見て一流かどうか分かるようになる ▶ 形を見て、人の情熱を感じる力、人の情熱に共感する力
 - 自分が一流の人間になること、それが叶わなければ、(自分が理解し得ない)一流の存在を認めること

3. 一流の(ひとつの)イメージ

- ・ 19世紀後半の「グランド・ホテル」(以下、ウィキペディアなど参照) ▶ ヨーロッパの大都市に見られる迎賓館的ホテル ▶ 贅を尽くした内装、貴族的な伝統、格式に裏打ちされたサービス ▶ セザール・リッツのサボイ(ロンドン) ▶ オテル・リッツ(パリ)、リッツ・ロンドン、ホテル・リッツ・マドリッド
 - 1850年頃より「世界の工場」、「世界の銀行」と呼ばれたパックス・ブリタニカ ▶ ヨーロッパの工業化 ▶ その後の帝国主義の時代
 - ◇ ヨーロッパに おいては古くから社交界が発達していた。社交界でのパーティーに出席する貴族階級が集まり、夜を明かす場として、荘厳な建築物がいくつも建設された。やがてそれらの建物は「グランドホテル」として、各国の王室をはじめ、貴族階級が宿泊するための施設となっていった。また、アメリカ合衆国にもこうしたヨーロッパ式のグランドホテルが持ちこまれた。そのいくつかは現在でも残っており、たいていは国の最高級ホテルとして国賓も宿泊する施設になっている。
 - オテル・リッツ(Hôtel Ritz)は、パリの中心部にある壮麗な宮殿ホテルである。ヴァンドーム広場に位置し、八角形の広場を見渡すことができる。世界で最も豪華で評判の良いホテルの 1 つ。現在 159 室。
 - ◇ オテル・リッツは 1898 年、スイスのホテル経営者セザール・リッツと料理人のオーギュスト・エスコフィエの協力のもと設立された。
 - サヴォイ・ホテルの料理長に就任したエスコフィエは、現在でも著名な料理をいくつも考案している。例えば、オーストラリアの歌手ネリー・メルバを記念して 1893 年に作られた「ピーチ・メルバ」というデザートや、食通として知られたイタリアの作曲家ジョアキーノ・ロッシニを記念して名づけられた「牛ヒレ肉のロッシニ風」(トルヌード・ロッシニもしくはトルネード・ロッシニ)などが挙げられる。
 - レストラン経営と料理考案・レシピ集の著述を通じて、伝統的なフランス料理の大衆化・革新に貢献した事で知られる。現在にいたるフランス料理発展の重要なリーダーとして、シェフと食通の間で偶像視されている。
 - 築いた技法の多くは、フランス料理の創始者として知られるシェフ、アントナン・カレームの技法を基礎としている。エスコフィエの最大の功績は、カレームを基礎としながらも、カレームが築き上げた、精巧で装飾的な意味合いの濃厚な料理を単純化し、調理法を体系化する事によって、フランス料理現代化の先鞭をつけたことにある。
 - エスコフィエの改革は料理そのものに止まらず、シェフという職に、残忍さや醜態に代わり、規律と節制という気風を持ち込み、シェフ職の社会的地位の向上に貢献したことが功績の 1 つに数えられている。また、厨房各々のセクションにシェフ・ド・パルティ(chef de partie、部門シェフ)を置くシステム「ブリゲード・ド・キュイジーヌ」を発案、自身の厨房を再編した。
 - 一度にすべての料理を供するサービスが主流だったフランス料理に、コースメニューを導入した事でも知られている。
 - 1903 年、エスコフィエは初の主著「料理の手引き」(Le Guide Culinaire)を出版した。「料理の手引き」には 5,000 ものレシピが掲載されており、フランス料理の世界では、この本の重要性は、どれほど評価 してもし足りないものと一般に考えられている。今日なお「料理の手引き」は、古典料理のレシピ集・教科書として用いられている。
 - ◇ 伝えられるところによれば、居室に隣接した浴室や電話、電気を各部屋に設置提供したのは、オテル・リッツがヨーロッパで初めてだったという。その贅沢さがまたたくまに評判になり、王侯、政治家、作家、映画スター、歌手等を顧客に迎えることになった。「レスパドン」は世界的に有名なレストランであり、隣接する「リッツ・エスコフィエ料理学校」で学ぶ野心的なシェフを世界中から引きつけている。ホテルの最も豪華なスイート「スイート・アンペリア

ル」は、それ自体がフランス政府により歴史的建造物の指定を受けた。

- ◇ セザールは当時超一流と言われたインテリア・デザイナーを雇い、家具からグラス一つに至るまで全てカスタム・メイドにした。
- ◇ 上流階級とその贅の象徴としてのステイタスから、オテル・リッツは小説など多くの著名な創作作品の中で重要な役割を果たした。F・スコット・フィッツジェラルドの『夜はやさし』や、ヘミングウェイの『日はまた昇る』、ノエル・カワードの戯曲『Semi-Monde』、あるいはビリー・ワイルダー監督の 1957 年のコメディ『昼下がりの情事』、1966 年の映画『おしゃれ泥棒』などが挙げられる。
- ◇ 何年もの間、多くの有名人たちがリッツを訪れることになった。アーネスト・ヘミングウェイはバーにその名を残し、他にも [F・スコット・フィッツジェラルド](#)、[マルセル・プルースト](#)、[エドワード 2 世](#)、[イラン皇帝](#)、[ルドルフ・ヴァレンチノ](#)、[チャールズ・チャップリン](#)、[グレタ・ガルボ](#)、[マレーネ・ディートリヒ](#)、[オーソン・ウェルズ](#)、[モーリス・シュヴァリエ](#)、[ジャン＝ポール・サルトル](#)、[エルトン・ジョン](#)などが挙げられる。クチュリエの[ココ・シャネル](#)は、リッツを 30 年以上も自宅代わりにしていた。ホテルのスイーツの多くには、彼ら著名な顧客の名前が付けられている。ヘミングウェイは「パリに居ながらリッツに滞在しないのは、その余裕がない時だけだ」という有名な言葉を残している。
- ◇ 多くの小説にオテル・リッツは登場する。[F・スコット・フィッツジェラルド](#)の『夜はやさし』、[アーネスト・ヘミングウェイ](#)の『日はまた昇る』など。[ノエル・カワード](#)の戯曲『セミ・モンド』は、ホテルについて述べた作品としてはおそらく最も詳細なものであり、1924 年から 1926 年にかけてのパリのエリートの、贅沢で行き当たりばったりな冒険を語っている。ブレット・イーストン・エリスの小説『Glamorama』では、スーパーモデルの団がテロリスト化し、手製の爆弾をリッツに仕掛けて破壊する。『ダ・ヴィンチ・コード』では主人公のロバート・ラングドンがパリ滞在中オテル・リッツに宿泊し、[ローレン・ワイズバーガー](#)の『プラダを着た悪魔』も、[アンドレア・サククス](#)と[ミランダ・プリーストリー](#)の滞在先がオテル・リッツである。イアン・フレミングのジェームズ・ボンド・シリーズ『[007 ロシアより愛をこめて](#)』では、最終章の舞台がオテル・リッツになっている。敵役ローザ・クレブが 602 号室に滞在、ボンドと交戦して死ぬ。
- ◇ オテル・リッツは何本かの映画にも登場しているが、そのうちの 2 本は[オードリー・ヘプバーン](#)の主演である。[ビリー・ワイルダー](#)監督の 1957 年のコメディ『[昼下がりの情事](#)』では、ヘプバーンと[ゲーリー・クーパー](#)の恋がリッツのスイートで始まる。1966 年の映画『[おしゃれ泥棒](#)』では、ヘプバーンと[ピーター・オトゥール](#)のロマンチックなシーンがホテルの前で撮られている。
- ◇ 1904 年と 1908 年に、リッツの庭のカフェを、スイスの画家ピエール＝ジョルジュ・ジャンワ Pierre-Georges Jeannot が描いている。プルーストは『[失われた時を求めて](#)』執筆時の 1909 年ごろ、オテル・リッツに滞在している。
- ◇ [ルーマニア王妃マリア](#)は 1919 年のパリ講和会議の際、オテル・リッツに滞在した。他にも多くの著名な王室関係者や政治家が、何年もの間リッツで寝食をとった。
- ◇ 1940 年夏、ヘルマン・ゲーリング率いるナチドイツ空軍が第二次世界大戦中、オテル・リッツに本部を置いた。
- ◇ 1979 年、リッツ一族はホテルを、エジプトの実業家モハメド・アルファイドに 20,000,000 ポンドで売却した。アルファイドはホテルを営業しながら、数年かけて全て改装を済ませた。このときに 2 棟のタウンハウスを増築し、パリの主要メゾンを抑えるアーケードと直結した。1980 年から 1987 年にかけてホテル改築の指揮をとったのは、建築家のベルナール・ゴージュレルであった。
- ◇ 1988 年には、オーギュスト・エスコフィエを記念して、料理学校エコール・リッツ・エスコフィエが設立された。世界的な高い評価に惹かれた野心的なシェフたちが世界中からやってきて、オテル・リッツのメインキッチン正面向かい側で訓練を受けている。学校の精神は、「美味しい料理は真実の幸せの基盤」というエスコフィエの言葉に基づいている。学校はホ

テル裏の入り口につながっていて、プチフル、果物や野菜のカービング、トリュフ、食べ物とワインの取り合わせ、といったテーマに従い 4 時間のワークショップに取り組む。2009 年現在、経費は 4 時間コースで 135 ユーロ、2 日間の入門講座には 920 ユーロを要する。

- ◇ リッツはパリで最も高価なホテルだといわれていて、600 名以上の従業員を抱え、2011 年 8 月現在、1 泊の室料は最低 850 ユーロ(10万円)である。スイートは最低 3,600 ユーロ(40万円)から、最も高価なスイート・アンペリアルは 1 泊 13,900 ユーロ(150万円)を要する。これらの特別スイートは全部で 11 室あり、「プレステージ・スイート」として知られている。
- ◇ スイート・アンペリアルは、ホテルの最上級スイートであり、その客間はフランスの歴史的建造物 (Monuments Histriques) の指定を受けている。スイート・アンペリアルは 2 階にあり、2 つの寝室、壮大な居室、食堂とからなる。スイートの高さは 6 メートル、大きなシャンデリア、ヴァンドーム広場を見下ろす窓、その窓の間にバロック調の巨大な金縁の鏡、赤と金のファブリック、ヴェルサイユ宮殿にあるマリー・アントワネットの寝室のものと同じ 4 本支柱のベッドなどの特徴がある。もう 1 つの寝室はルイ 16 世様式で、天蓋ベッドとコラムを擁する。スイートは惜しげもなくフランス絵画、バス・レリーフ(彫刻)で装飾され、18 世紀の羽目板はその歴史的建造物として保護されている。
- ◇ 浴室はかつての女性用私室で、ヴァンドームの庭に面している。18 世紀の羽目板とともに、ジャグジー、スチーム・バス・シャワー、プラズマテレビ、化粧品用冷蔵庫を備えており、フランスの古き伝統と 21 世紀の現代性とを兼ね備えている。DVD プレーヤーや高速インターネット、ファクスといった設備とともに、居室の近くには簡易キッチンが設置され、小さな個人用ワインセラーの中は、さまざまなフランスワインで一杯になっている。
- ◇ 数年に渡り、イラン王からアメリカ大統領まで、世界の主要賓客の幾人もが、このスイートに宿泊してきた。第二次世界大戦中にはヘルマン・ゲーリングの滞在地となり、ダイアナ元皇太子妃とドディ・アルファイドが最後の食事をとった場所にもなった。2007 年のワールド・トラベル・アワードは、スイート・アンペリアルを「ヨーロッパの主要スイート」に選出している。
- ◇ ヴァンドーム・スイートはリッツにおいても特別なスイートルームであり、赤と象牙色を基調とし、ルイ 14 世様式の家具でしつらえられ、広場を見渡す大きな窓を備えている。
- ◇ セザール・リッツ・スイートは広場に面しており、ルイ 15 世様式の家具でしつらえられ、リッツ本人の肖像画が掲げられている。室内は落ち着いたグリーンと明るい黄色に彩られ、1 室には天蓋ベッドが、もう 1 室には花模様の絹のリネンのベッドが置かれている。スイートの居室のドアは、金箔で縁どられている。
- ◇ エルトン・ジョン・スイートは、濃いピンクとクリーム色を基調に、2 つのベッドルームを備え、ピンク色の厚いカーペットが敷かれ、窓が屋根裏部屋風になっている。エルトン・ジョンは 42 歳の誕生日に、階全体を借り切ったという。
- ◇ ウィンザー・スイートは、タペストリー、金色のモールディング、ウィンザー公爵夫妻の肖像画で飾られている。家具はルイ 16 世様式、アーモンド・グリーン、サーモン・ピンク、パール・グレイといった色で装飾されている。主寝室の色合いはウォリス夫人好みのパール・グレイを基調としており、リッツではこの色を「ウォリス・ブルー」と呼んでいる。
- ◇ 1670 平方フィート(155 平方メートル)の広さを持つココ・シャネル・スイートでは、[ココ・シャネル](#)が 35 年間生活していた。2 つの寝室と 1 つの居室からなり、コロマンデル・ラッカー、中国風家具、バロック調の鏡、「グラン・マドモワゼル」自身が創作したキルティングの特大大ソファを特徴とする。このスイートは、「ファクス、ジャグジー、スチーム・バス・シャワー、最新式ウォーク・イン・クローゼットといった最も高度なテクノロジーが導入されている」という。
- ◇ 2011 年 10 月 18 日、突然リッツ・パリ休業のニュースが世界に発信され関係者を驚かせた。翌 12 年夏より 2 年 3 か月という異例の完全休業で、“前例のない改装”が理由だ。

- 帝国ホテル・ライト館 ▶ 日本のグランド・ホテル
 - ◇ 1912 年(明治 45 年)、当時の総支配人だった林愛作は旧知のアメリカ人建築家、フランク・ロイド・ライトに新館の設計を依頼した。ライトは来日して、使用する石材から調度品に使う木材の選定に至るまで、徹底した管理体制でこれに臨んだ。
 - ◇ 鷺が翼を広げたような巨大なホテルは、実は小部分がいくつも繋ぎ合わされた連結構造になっており、これで建物全体に柔軟性を持たせるとともに、一部に倒壊があっても全体には累を及ぼさない仕組みになっていた。また大規模ホテルとしては世界で初めて全館にスチーム暖房を採用するなど、耐震防火に配慮した画期的な設計だった。
 - ◇ しかしこうした完璧主義は大幅な予算オーバーを引き起こした。ライトはそれでも林との個人的な友情でかろうじて施工の総指揮を続けていたが、1919 年(大正 8 年)に隣接する初代帝国ホテルが失火から全焼すると、新館の早期完成は経営上の急務となり、設計の変更を繰り返すライトと経営陣との衝突は避けられなくなった。さらに当初予算 150 万円が 6 倍の 900 万円に膨れ上がるに至って、林は総支配人を引責辞任、ライトも精魂注いだこのホテルの完成を見ることなく離日を余儀なくされる。
 - ◇ ホテルの建設はライトの日本における一番弟子だった遠藤新の指揮のもとその後も続けられた。1 年後の 1923 年(大正 12 年)、設計から 11 年の歳月を経てライトの本館は完成、9 月 1 日に落成記念披露宴が開かれることになった。関東大震災が東京を襲ったのは、まさに宴の準備に大忙しの時だった。周辺の多くの建物が倒壊したり火災に見舞われる中で、小規模な損傷はあったもののほとんど無傷で変わらぬ勇姿を見せていたライトの帝国ホテルはひとときわ人々の目を引いた。ライトは二週間後このことを遠藤からの手紙で知り狂喜したという。
 - ◇ 1945 年(昭和 20 年)3 月 10 - 11 日の東京大空襲では、本館中央部から南翼、孔雀の間、演芸場などに多くの焼夷弾が落ち、焼失は総床面積の四割強に及ぶ大きな被害を受けた。終戦とともに帝国ホテルは GHQ に接收され、そこで大規模な修復工事が行われ、ホテルは旧来の姿を取り戻している。
 - ◇ 1954 年(昭和 29 年)にはライトの本館の裏手に客室数 170 の第一新館が完成、1958 年(昭和 33 年)にはその横に地上 10 階、地下 5 階、客室数 450 の第二新館が完成した。これをうけて、1964 年(昭和 39 年)にはライトの本館を取り壊し、その跡地に新たに鉄筋コンクリート建て、地上 17 階、地下 3 階、客室数 772 の新本館を建設することが発表された。
 - ◇ 震災にも空襲にも耐えたこのホテルの存続を訴える大規模な反対運動が起ったが、本館は地盤沈下などの影響で柱が傾き雨漏りがするといった老朽化の問題もさることながら、都心の一等地を占有する巨大な建造物の客室数がたったの 270 では話にならなかった。
 - ◇ ライトの新館は 1967 年(昭和 42 年)に閉鎖され、翌年春頃までに取り壊された。跡地に建設された近代的外観の新本館は、1970 年(昭和 45 年)の日本万国博覧会開会に合わせて竣工。
 - ◇ 2005 年(平成 17 年)4 月、新本館 14 階の「インペリアルフロア」に新設された「フランク・ロイド・ライト・スイート」は、ライト館のさまざまな箇所に施された独特なマヤ調の意匠やライト独自のスタイルでまとめられた内装や調度品を忠実に再現したものとなっている。
- 博物館明治村(愛知県犬山市 100 万平米): 1965 年(昭和 40 年)名古屋鉄道が用地の寄付をはじめ財政面で全面的に援助(基金拠出)し、博物館明治村は犬山市の入鹿池のほとりにオープンした。2007 年現在では 67 件(蒸気機関車等も含む)に達している。博物館の敷地も 2 倍近くの 100 万平方メートルに広がっている。重要文化財の建物が 10 棟含まれ、それ以外のほとんどの建物も登録有形文化財になっている。
 - ◇ 帝国ホテル中央玄関 フランク・ロイド・ライトの代表的作品(関東大震災と同年の 1923 年竣工)として知られ、同ホテルの建て替え構想が発表されると、日・米両国で保存を求める声が高まっていた。記者会見でコメントを求められた佐藤栄作首相により、明治村に再建

する案が提示された。1967 年にホテルは取壊され、10 数年の歳月をかけて、1985 年に再建された。玄関部分だけとはいえ、明治村最大の建物である。「明治村帝国ホテル中央玄関」として、2004 年 2 月 17 日に登録有形文化財登録(東京都千代田区内幸町 1 丁目にあったホテルの再現)。

➤ 明治村に存在する、その他の重要文化財

- ◇ 西郷従道邸 フランス人建築家レスカスによるものとされる、西郷従道の邸宅の接客用の洋館。明治 10 年代に建設。木造二階建て銅板葺。1964 年(昭和 39 年)に西郷山から移築。内部で展示されている調度品の多くは鹿鳴館や赤坂離宮で使用されたもの。二階のベランダは雨水を流すため若干の傾斜をつけるなどの細やかな工夫が随所に見られる。明治村移築前は国鉄スワローズの選手宿舎として使われ畳を敷いていたという。「旧西郷従道住宅」として、1965 年(昭和 40 年)5 月 29 日に重要文化財指定。
- ◇ 聖ヨハネ教会堂 宣教師でもあるアメリカ人建築家ガーディナーの建築。1907 年(明治 40 年)に建てられた。木造煉瓦造二階建て銅板葺。1964 年(昭和 39 年)に移築。細部はゴシック風である。「旧日本聖公会京都聖約翰教会堂」として、1965 年(昭和 40 年)5 月 29 日に重要文化財指定。
- ◇ 品川灯台 フランス人技師レオンス・ヴェルニーらの設計。明治 3 年点灯。避雷針先端までの高さは約 9m である。現存する洋式灯台では日本最古である。1964 年(昭和 39 年)移築。「旧品川燈台」として、1968 年(昭和 43 年)4 月 25 日に重要文化財指定。
- ◇ 菅島灯台付属官舎 イギリス人技師リチャード・ヘンリー・ブラントンらの設計。明治 6 年建設。灯台守の宿舎として使われた。煉瓦造平屋建て。三重県鳥羽市の菅島より 1964 年(昭和 39 年)移築。「旧菅島燈台付属官舎」として主屋と倉庫がそれぞれ、1968 年(昭和 43 年)4 月 25 日に重要文化財指定。
- ◇ 札幌電話交換局 防火の観点から札幌軟石を用いた石造で建てられた。一階はアーチ窓、二階は楕窓を採用している。二階窓下には花紋が連続している。1898 年(明治 31 年)建設。1965 年(昭和 40 年)移築。「旧札幌電話交換局舎」として、1968 年(昭和 43 年)4 月 25 日に重要文化財指定。
- ◇ 呉服座(くれはざ) 1892 年(明治 25 年)に大阪府池田市に建設された。木造二階建杉皮葺き。歌舞伎や芝居の他、演説会場としても使われ、尾崎行雄、幸徳秋水も演説を行っている。「旧呉服座」として、1984 年(昭和 59 年)12 月 28 日に重要文化財指定。1993 年 6 月 1 日~6 日まで、地元テレビ局のテレビ愛知の開局 10 周年記念事業として坂東玉三郎主演の特別公演を行ったことがある。テレビ愛知が坂東に出演依頼を行った際、『呉服座の舞台でなら踊ってもよい』という一言から、明治村を運営する名古屋鉄道の協力もあり行われ、合計 3,371 人が訪れた。
- ◇ 三重県庁舎 1879 年(明治 12 年)の建築。設計は清水義八。「旧三重県庁舎」として、1968 年(昭和 43 年)4 月 25 日に重要文化財指定。
- ◇ 東山梨郡役所 東山梨郡役所として 1885 年(明治 18 年)に現山梨市に建設された。山梨県初代官選知事藤村紫朗の推進した「藤村式建築」と呼ばれる擬洋風建築のひとつ。木造二階建。正面にベランダを配した左右対称形は当時の官庁建築としては典型的である。「旧山梨県東山梨郡役所」として、1966 年(昭和 41 年)6 月 11 日に重要文化財指定。
- ◇ 宇治山田郵便局 1909 年(明治 42 年)建設。木造平屋建銅板葺。設計は当時の逓信省の技師白石円治である。三重県伊勢市の伊勢神宮外宮前に所在した郵便局舎で、外観はハーフティンバーを基調としている。明治時代の木造郵便局舎としては現存する唯一のものである。「博物館明治村簡易郵便局」として営業中。「旧伊勢郵便局舎(宇治山田郵便局舎)」として、1999 年 5 月 13 日に重要文化財指定。
- ◇ 東松(とうまつ)家住宅 1901 年(明治 34 年)の建築。「旧東松家住宅」として、1974 年 2 月 5 日に重要文化財指定(愛知県名古屋市中村区舟入町からの移設)。木造建築では珍しい三階建て。